

東北地方 1か月予報

(2月1日から2月28日までの天候見通し)

平成15年1月31日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

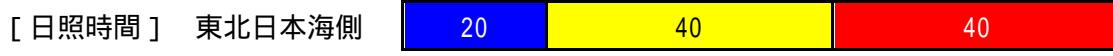
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

冬型の気圧配置となる日が多いですが、期間の前半は長続きしないでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並か多く、東北太平洋側で平年並、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 2月 1日(土) ~ 2月28日(金)

1週目 : 2月 1日(土) ~ 2月 7日(金)

2週目 : 2月 8日(土) ~ 2月14日(金)

3~4週目 : 2月15日(土) ~ 2月28日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は2月7日

3か月予報：2月20日(木)14時00分

暖候期予報：3月10日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.9	58.2	141.9	18	0.3	0.6	1.3
新庄	-1.0	145.3	56.3	-----	-1.6	-1.1	-0.5
若松	-0.4	70.2	97.3	113	-1.0	-0.6	0.1
深浦	-0.2	77.3	48.8	68	-0.9	-0.5	0.2
青森	-1.1	116.0	72.9	213	-1.8	-1.5	-0.6
むつ	-1.5	84.9	91.8	-----	-2.2	-1.9	-1.1
八戸	-0.9	52.7	131.8	50	-1.6	-1.2	-0.4
秋田	0.2	92.0	65.6	78	-0.5	-0.1	0.6
盛岡	-1.6	54.9	128.9	55	-2.4	-1.9	-1.0
宮古	0.3	79.6	151.2	45	-0.4	0.0	0.7
酒田	1.4	115.3	60.0	66	0.9	1.3	1.8
山形	-0.2	70.2	99.3	93	-0.9	-0.4	0.2
仙台	1.7	48.4	151.9	25	1.0	1.6	2.2
石巻	0.9	44.3	162.6	24	0.2	0.7	1.4
福島	1.8	49.8	144.3	42	1.1	1.6	2.3
白河	0.5	41.4	152.4	-----	-0.2	0.3	0.9
小名浜	3.7	61.9	175.0	7	3.1	3.5	4.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	80~109	96~105	74~123
東北日本海側	-0.3~+0.4	95~108	92~106	70~121
東北太平洋側	-0.4~+0.6	69~117	97~104	59~124

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.8	-0.8~+0.9	-0.6~+0.7
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.8~+0.9	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.5~+0.9	-0.8~+1.0	-0.5~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年1月31日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(2月1日~2月28日)：

冬型の気圧配置となる日が多いですが、期間の前半は長続きしないでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(2月1日~2月7日)：

冬型の気圧配置の日が多く、東北日本海側では曇りや雪の日が多いですが、期間の後半は晴れる日もあるでしょう。東北太平洋側は期間の中頃気圧の谷の影響で天気が崩れるほかは概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(2月8日~2月14日)：

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(2月15日~2月28日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

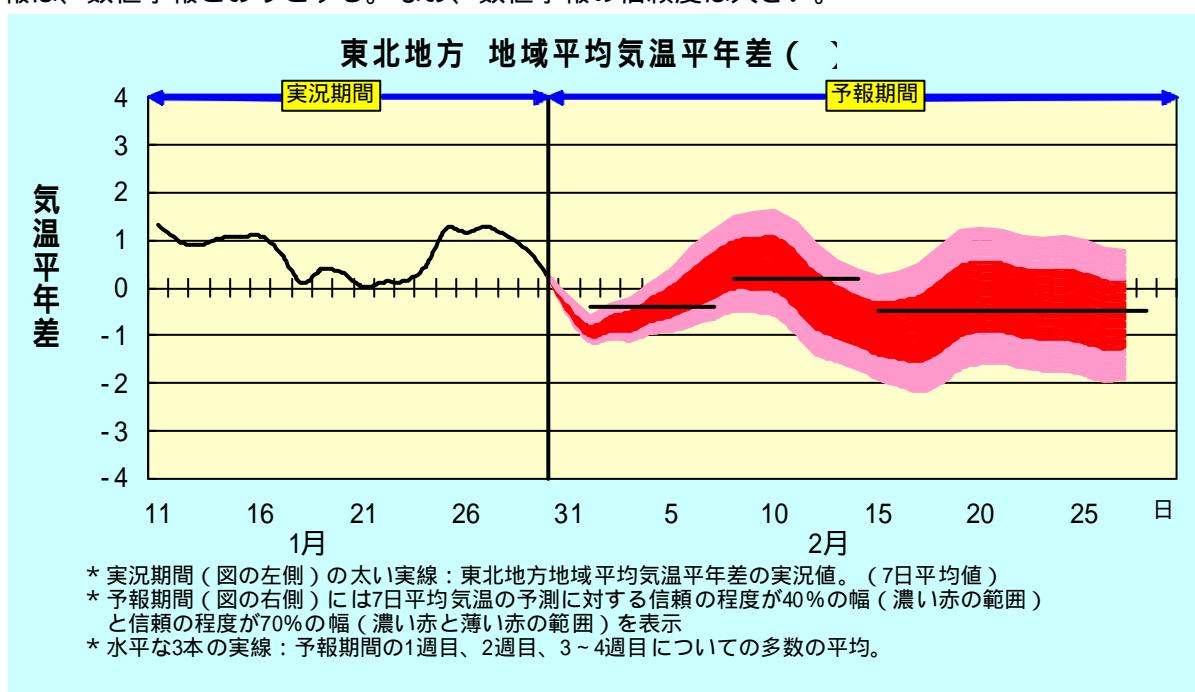
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

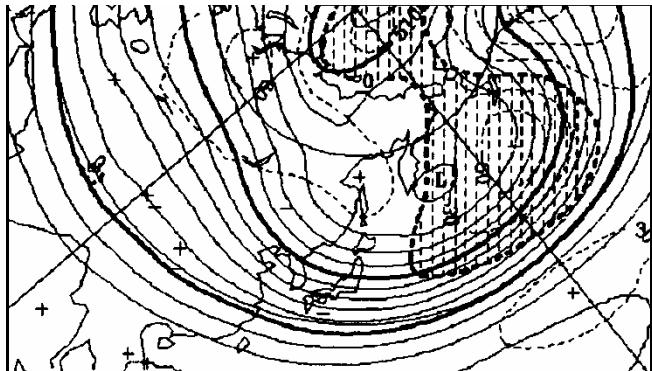
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.4日	1.3日	1.5日	3.6日
東北太平洋側	17.7日	4.5日	4.7日	8.5日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」を予測している。予報は、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

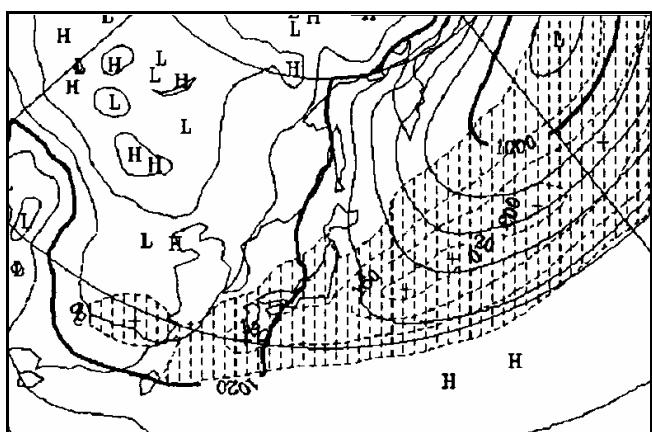


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 每、陰影部 : 負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、アリューシャン列島の南には負偏差が広がるが、日本付近は高緯度を中心とした正偏差に覆われる。

週別（図略）では、1週目北日本は月平均と同様に高緯度の正偏差に覆われるが、東日本以西は負偏差に覆われる。2週目は、日本付近が正偏差の中心。3~4週目は、日付変更線付近から北日本にかけ負偏差が広がる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本付近は冬型の気圧配置だが、平年より気圧は高く冬型は弱い。

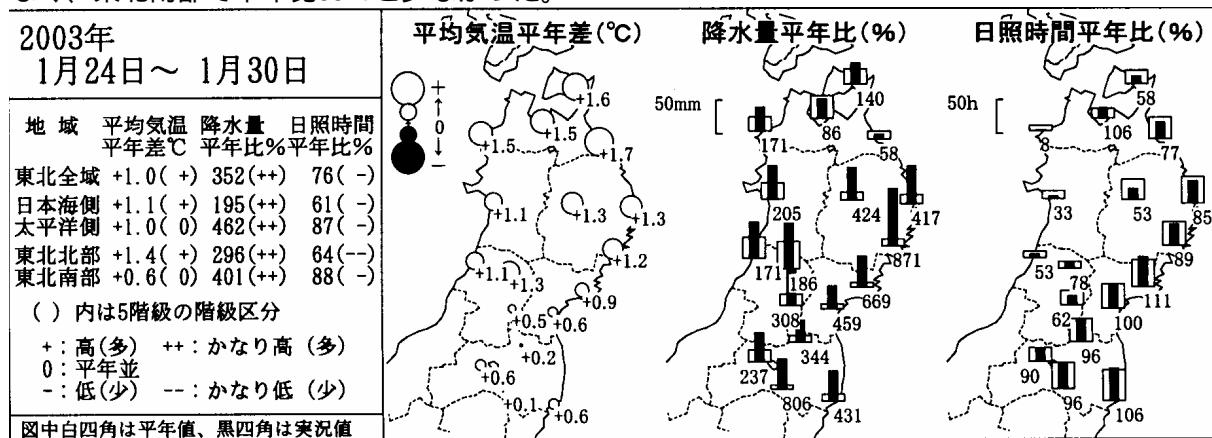
まとまった降水域は日本の南岸に予想される。

週別（図略）では、2週目にかけて冬型の気圧配置が弱く、天気は概ね周期変化して低気圧の影響を受ける日がある見込み。3~4週目は、平年と同様の冬型の気圧配置となる。

4. 最近1週間（1月24日～1月30日）の天候の経過

27日は、低気圧が発達しながら日本海を北東に進んだため、東北地方は南から暖かい空気が入って雨となった。その他の日は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪、東北太平洋側は概ね晴れたが、29日には強い寒気が南下したため東北太平洋側でも雪となり、交通機関などに影響がでた。気温は、28日まで平年より高かったが、29日以降は平年より低く、変動が大きかった。

平均気温は、東北北部で平年差+1.4と高く、東北南部で平年差+0.6と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比352%とかなり多かった。日照時間は、東北北部で平年比64%とかなり少なく、東北南部で平年比88%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）